資料Ａ

# 令和4年度　港区運営方針（素案)からの変更について

【様式1】

（区長:筋原　章博）

## ◆計画

### 区の目標（何をめざすのか）

「暮らして楽しい」「遊んで楽しい」「働いて楽しい」まち　港区の実現

### 区の使命（どのような役割を担うのか）

豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力とうるおいのある地域社会をめざす。そのため、①昔ながらの人情あふれる地域のつながりの継続、②集客やメディア発信等によるまちのイメージアップ、③公民連携で地域の経済力と価値を向上させるエリアリノベーションを柱に、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、まちづくりを推進するとともに、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進める。

### 令和４年度　区運営の基本的な考え方（区長の方針）

港区民のつながりの強さや、港区各エリアが持つ歴史的文化的な魅力など、港区の「強み」を生かして、「区民主体のまちづくり」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、「「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり」、「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」の実現をめざして、コロナ禍に対応しながら施策・事業に重点的に取り組む。

### 重点的に取り組む主な経営課題（様式２）

| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
|---|---|
| 【経営課題1】<br>区民主体のまちづくりに向けて、身近な地域の中で生活課題などの解決に取り組む地域コミュニティの活性化を促す必要がある。~~そのため、地域活動協議会による自律的な地域運営の充実と地域に根ざした活動の活性化を図る必要がある。また、様々な主体が互いに協力し、これらの主体と行政が協働するマルチパートナーシップを推進する必要がある。~~また地域活動協議会による自律的な地域運営並びに多様な活動主体間の連携について地域実情に応じて支援をする必要がある。 | 【1-2 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進】<br>地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、コロナ禍に対応しながら、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現する。 |

主な具体的取組（４年度予算額）

【1-2-2 地域課題解決に向けた取組の支援】 地域活動協議会による地域課題への対応・解決に向けた取組を支援する。（~~32,268~~32,550千円）

| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
|---|---|
| 【経営課題2】<br>安全・安心・快適なまちづくりに向けて、自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時に迅速かつ的確な対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力を強化する必要がある。また、地域実態に基づいた犯罪を抑止する活動を展開し、犯罪が発生しにくいまち、区民が安心して暮らせるまちづくりをめざす。 | 【2-1 防災対策の強化】<br>地域防災力の強化に向けて、コロナ禍に対応しながら、地域の自主防災組織による防災訓練の実施や避難行動要支援者の避難支援の取組を支援するとともに、地域の災害時の担い手を確保する取組等を支援する。<br>【2-2 防犯対策の強化】<br>警察や地域等と連携し、コロナ禍に対応しながら、区民への啓発活動や犯罪発生情報の発信を行い、臨機かつ機動的な防犯活動を行う。防犯カメラの設置や、地域団体等による防犯パトロールなどの自主防犯活動を支援する。 |

主な具体的取組（４年度予算額）

【2-1-1 地域防災の活動支援】地域住民による避難所開設訓練や地域における防災学習会の開催支援、地域における避難行動要支援者の避難支援の取組の促進を支援2,025千円）
【2-2-1 地域防犯・安全対策】警察と連携した犯罪情報の発信及び地域と協働した防犯意識啓発活動（1,568千円）

| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
|---|---|
| 【経営課題3】<br>健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けて、支援を必要とする人も地域で安心して暮らせるよう、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく取組を促進する。<br>食生活の改善や適度な運動など、健康的な生活習慣を身につけるとともに、生活習慣病の予防や疾病の早期発見が重要であり、区民の主体的な健康づくりを促進する必要がある。<br>児童虐待を未然に防止するためには、妊娠期から出産、学齢期まで切れ目なく虐待ハイリスク家庭を早期に発見し支援につなげる必要がある。 | 【3-1 地域福祉の推進】<br>区の地域福祉を推進するため、平成30年度に全地域に策定された「地域福祉活動計画」に基づき、コロナ禍に対応しながら、各地域において活動が主体的に、継続的に推進されるよう支援する。<br>【3-3 セーフティネットの充実】<br>関係機関や地域で活動する団体等との連携を強化し、支援を必要とする子どもや家庭にとって身近に相談ができ安心して生活できる環境をコロナ禍に対応しながら整備する。 |

主な具体的取組（４年度予算額）

【3-1-2 高齢者等要援護者の見守り支援】高齢者等の相談や見守り支援、地域福祉サポート事業のマッチング等により、地域における住民主体の福祉コミュニティづくりを推進する。（14,955千円）
【3-3-4 児童虐待未然防止・早期発見機能の強化・DV被害者の支援】保育所・幼稚園への巡回等により、虐待リスクの判断や対応についての指導や助言を行うことで虐待対応力の向上を図り「子育て支援室」との連携を強化する。（~~6,166~~6,227千円）

# 重点的に取り組む主な経営課題

**経営課題１**【区民主体のまちづくり】

計画

【主なSDGsゴール】

## めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

地域の課題や実情を最もよく知っている住民等が中心となり、多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)による活力ある地域社会が実現されている。

## 現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

| 区民モニターアンケート(2年度) | |
|---|---|
| 住んでいる地域~~(おおむね小学校区)~~では日頃から 近所どうしで「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じると回答した割合 | 48.1% |
| 地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域が一体となって自律的に運営されていると感じていると回答した割合 | 69.0% |
| ~~校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じていると回答した割合~~ | ~~28.0%~~ |

| 地域活動協議会構成団体アンケート(2年度) | |
|---|---|
| 地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 | 93.4% |

| | |
|---|---|
| 地域活動協議会をはじめ地域団体や企業など多様な活動主体による連携・協働の件数（2年度） | 9件 |

## 要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

・少人数世帯・高齢単身世帯の増加、マンションなどの共同住宅の増加といった地域コミュニティを取り巻く社会環境の変化や、ICTの進展による人と人との相対のコミュニケーションの減少などに伴う個人の生活様式や価値観の多様化により、人と人とのつながりの希薄化もうかがえ、家庭や地域コミュニティでの「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった「自助」、「共助」の機能が低下している。
・地域活動協議会では自律的に地域実情に即した活動が活発に進められており、構成団体アンケートでは9割以上が、区民モニターアンケートでは約7割が自律的に進められていると感じている。
・~~地域活動協議会や地域の各種団体、NPO、企業などとの連携、協働により、まちづくりに関する活動が進められているが、区民モニターアンケートでは約7割が進められていると感じていない状況にある。~~地域活動協議会と企業、専門学校、医療機関など多様な活動主体との連携・協働が進められている（30年度：7件、元年度：8件）。

## 課題（上記要因を解消するために必要なこと）

・つながりづくりの基礎となる自治会・町内会単位（第一層）やマンション単位の活動への支援により、身近な地域の中で生活課題などの解決に取り組む地域コミュニティの活性化を促進する必要がある。また、地縁型団体等による地域に根差した活動の活性化やコミュニティイベントの企画、運営への参画や開催を通じたつながりづくりを促進する必要がある。
・コロナ禍においても地域活動協議会による自律的な地域運営が持続的に進められるよう、地域実情に即してきめ細やかに支援するとともに、さまざまな広報媒体を活用して地域活動協議会の認知度を高める必要がある。
・~~地域活動協議会をはじめ、市民、NPO、企業などの様々な活動主体が互いに協働するとともに、これらの主体と行政とが協働するマルチパートナーシップを推進する必要がある。~~地域が抱える課題やニーズを把握しながら、地域実情に応じて多様な活動主体間の連携を支援する必要がある。

自己評価

## 戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

## めざす成果及び戦略　１－１　【豊かなコミュニティの促進】

**計画**

| めざす状態＜概ね３～５年間を念頭に設定＞ | 戦略（中期的な取組の方向性） |
|---|---|
| 若い世代やマンション住民など、より幅広い人と人とのつながりづくりが進んでいる。<br>地域課題の解決に向けた活動が活発に行われている。 | ・自治会・町内会への加入促進支援やコミュニティイベントの開催、生涯学習、生涯スポーツの提供などを通じて、コロナ禍に対応しながら人と人とのつながりづくりを促進していく。<br>・子育て支援や高齢者への支援、地域の安全・安心の確保、まちの美化、地域の魅力創出など、多様な分野における地域活動について、コロナ禍に対応しながら、それぞれの活動の範囲やステージに応じた支援を行う。 |
| アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） | |
| ○区民モニターアンケートにおいて、住んでいる地域~~（おおむね小学校区）~~では日頃から 近所どうしで「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じると回答した割合<br>29年度：49.9%→元年度：48.4%→2年度：48.1%<br>4年度：55%以上 | |

**自己評価**

| 戦略のアウトカム指標に対する有効性 | | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、戦略を見直す |
|---|---|---|
| アウトカム指標の達成状況 | 前年度 | 個別 | 全体 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| A：順調　B：順調でない | | | |
| 戦略の進捗状況 | | a：順調<br>b：順調でない |

課題　※有効性が「イ」の場合は必須

今後の対応方向　※有効性が「イ」の場合は必須

## 具体的取組１－１－１　【人と人とのつながりづくり】

| ２決算額 | － 円 | ３予算額 | － 円 | ４予算額 | － 円 |
|---|---|---|---|---|---|

**計画**

| 当年度の取組内容 | プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） |
|---|---|
| 近所に住む人同士が集まり、福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながっていることの大切さを感じてもらえるよう、防災訓練などの機会を捉えて啓発を行う。<br><br>若い世代をはじめ多くの人に、つながりづくりの大切さと興味を持ってもらえるよう、事例の共有や取組の情報発信を行う。<br><br>地縁による団体やグループへの加入を促進するため、地域のつながりの基礎となる自治会・町内会などのつながりづくりのための活動（マンション内での活動を含む）を支援する。<br><br>・人と人とのつながりづくりのための啓発や情報発信、活動支援などの件数：20件 | 区民モニターアンケートにおいて、住んでいる地域~~（おおむね小学校区）~~では日頃から 近所どうしで「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じると回答した割合：55%以上<br>【撤退・再構築基準】<br>区民モニターアンケートにおいて、住んでいる地域（おおむね小学校区）で日頃から 近所どうしで「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じると回答した割合が50%未満であれば支援の方法を再構築する。 |
| | 前年度までの実績 |
| | 3年度（~~9~~12月末時点）<br>・広報紙で「日頃の地域とのつながりの大切さ」を伝える記事の掲載　~~1~~419件<br>・区内転入者に地域活動協議会の紹介チラシを配布<br>・地域活動の紹介や参加呼びかけ等、区のHP・ツイッター・フェイスブックで情報発信　~~2~~440件<br>・町会への加入を呼びかけるチラシを区内転入者に配布し、区役所内で配架、掲示 |

**中間振り返り**

| プロセス指標の達成状況 | | |
|---|---|---|
| ①：目標達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>②：目標未達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) |

課題と改善策　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須

**自己評価**

| 当年度の取組実績 | 課題　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|
| | |
| プロセス指標の達成状況 | 改善策　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
| ①：目標達成　（ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>②：目標未達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>③：撤退・再構築基準未達成 | |
| 戦略に対する取組の有効性 | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) |

## 具体的取組１－１－２ 【地域活動の活性化】

| ２決算額 | － 円 | ３予算額 | － 円 | ４予算額 | － 円 |
|---|---|---|---|---|---|

**計画**

| 当年度の取組内容 | プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） |
|---|---|
| 自治会・町内会単位のいわゆる「第一層」単位やマンション単位で実施する防災・防犯活動等を積極的に支援するほか、各単位で様々な活動ができるような情報を提供する。<br><br>広報紙や区内イベント等で気軽に参加できる場や活動の情報を発信し、活動への参加を呼びかける。<br>・気軽に参加できる場や活動の情報発信：25件<br><br>地縁型団体への参加が少ない若い世代に向けて、区HP、SNSを活用し地域活動の紹介や参加を呼びかける。<br>・地域活動の紹介や参加の情報発信：50件<br><br>コロナ禍でも地域活動が停滞しないよう地域の実情に即して、コロナ禍に対応した地域活動を支援する。 | 区民モニターアンケートにおいて、各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じていると回答した割合：50%以上<br>【撤退・再構築基準】<br>区民モニターアンケートにおいて、各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じていると回答した割合が45%未満であれば事業を再構築する。 |
| | **前年度までの実績** |
| | 3年度（~~9~~12月末時点）<br>・区広報紙・区HPに地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区内で活動する団体の活動内容を区広報紙に掲載。<br>・町会への加入を呼びかけるチラシを区内転入者に配布し、区役所内で配架、掲示。<br>・広報紙等で区内で気軽に参加できる場や活動の情報を発信 ~~1326~~件<br>・毎月の地域行事予定を区HPに掲載<br>・地域活動の紹介や参加呼びかけ等、区のHP・ツイッター・フェイスブックで情報発信 ~~2440~~件<br>・コロナ禍において、オンラインの活用及び環境整備の支援を実施 |

**中間振り返り**

| プロセス指標の達成状況 | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|---|
| ①：目標達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>②：目標未達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) | |

**自己評価**

| 当年度の取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|
| | |
| プロセス指標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
| ①：目標達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>②：目標未達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>③：撤退・再構築基準未達成 | |
| 戦略に対する取組の有効性 ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) | |

## 具体的取組１－１－３ 【コミュニティ育成支援】

| ２決算額 | 12,411千 円 | ３予算額 | 12,315千 円 | ４予算額 | 12,217千 円 |
|---|---|---|---|---|---|

**計画**

| 当年度の取組内容 | プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） |
|---|---|
| コミュニティの育成や活性化を目的に開催する各種イベントについて、港区で活動するさまざまな団体やグループ、区民に対して企画段階からの参画を促し、コロナ禍に対応しながら、区民主体で実施できるようコーディネートを行う。<br><br>・多くの区民が企画段階から参加できるイベントの開催：5回 | コミュニティ促進や文化、スポーツ、子どもの健全育成等のイベントに企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ60団体・個人以上<br>【撤退・再構築基準】<br>参画した団体やグループ、個人の数が延べ30団体・個人以下であれば事業を再構築する。 |
| | **前年度までの実績** |
| | ３年度（~~9~~12月末時点）<br>・コミュニティ促進事業部会・実行委員会：35団体・個人<br>・文化振興事業部会・実行委員会：~~21~~32団体・個人<br>・こどもの健全育成事業部会・実行委員会：16団体・個人 |

**中間振り返り**

| プロセス指標の達成状況 | | |
|---|---|---|
| ①：目標達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>②：目標未達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) |

| 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|
| |

**自己評価**

| 当年度の取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|
| | |

| プロセス指標の達成状況 | | |
|---|---|---|
| | | |
| ①：目標達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>②：目標未達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) |

| 改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|
| |

## 具体的取組１－１－４ 【ひと・まち・まなびをつなぐ生涯学習の推進】

| ２決算額 | － 円 | ３予算額 | － 円 | ４予算額 | － 円 |
|---|---|---|---|---|---|

### 計画

| 当年度の取組内容 | プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） |
|---|---|
| 地域の学習ニーズに応える講座や社会的課題に対応した学習機会の提供のほか、「まなび」を基本とした教育コミュニティ（生涯学習ルーム・はぐくみネット）を中心に市民同士が交流を図り協働する中で市民力をまちづくりにつなげるとともに、「ひと」・「まち」・「まなび」をつなぐ多様なネットワークづくりをすすめる。あわせて、誰もが気軽に参加できる活動情報等を、区の広報紙、SNS等で周知する。<br><br>・出前講座の提供<br>・生涯学習ルーム一覧の発行(年1回)<br>・生涯学習推進員との連絡会議（役員または校下代表による会議を含む）を必要に応じて実施<br>・はぐくみネット情報誌の配架・提供<br>・生涯スポーツの振興に資するため、区内市立小・中学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で地域に開放 | 区民モニターアンケートによる「コロナ禍が収束した際には、過去の経験も含めて生涯学習活動で身に付けた知識・技術等の成果や人とのつながりを、ボランティア活動や地域活動、他人への学習指導等に活用したいと思う」と回答する割合：45%以上<br>【撤退・再構築基準】<br>・上記の割合が40%未満となった場合、事業の再構築を行う。<br><br>**前年度までの実績**<br>＜２年度＞<br>・出前講座の提供（全42講座）、実施（2件）<br>・生涯学習推進員校下代表会議（2回）<br>・はぐくみネット情報誌の配架・提供<br>・学校体育施設開放（16校）<br>・生涯学習ルーム一覧の発行及び区HPへの掲載（9月）<br>・区民まつりにおける生涯学習事業の普及・啓発（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催は中止）<br>・春いちばんふれあいフェスティバルの広報（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催は中止）<br><br>＜３年度（912月末時点）＞<br>・出前講座の提供（全31講座）<br>・生涯学習推進員校区代表会議等（23回）<br>・はぐくみネット情報誌の配架・提供<br>・学校体育施設開放（16校）<br>・生涯学習ルーム一覧の発行 |

### 中間振り返り

| プロセス指標の達成状況 | | |
|---|---|---|
| ①：目標達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>②：目標未達成(見込)（ⅰ)取組は予定どおり進捗 （ⅱ)取組は予定どおり進捗していない<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) |

| 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|
| |

### 自己評価

| 当年度の取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|
| | |

| プロセス指標の達成状況 | | 改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 |
|---|---|---|
| | | |
| ①：目標達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>②：目標未達成 （ⅰ)取組は予定どおり実施 （ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった<br>③：撤退・再構築基準未達成 | | |
| 戦略に対する取組の有効性 | ア：有効であり、継続して推進<br>イ：有効でないため、取組を見直す<br>―：プロセス指標未設定(未測定) | |